

目指す学校像	輝かしい歴史と伝統の上に立ち「至誠・士魂商才」の校訓のもと、地域産業の未来を担う人財の育成を使命とし、「中学生があこがれを持って目指す学校」、「企業から信頼される生徒を育てる学校」、「地域に貢献し、支援される学校」を目指す。
--------	--

達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 自ら学ぶ姿勢を持ち、確かな学力とビジネスの実践力を持った生徒を育成する。 マナーと規律を守り、思いやりの心を持った生徒を育成する。 進路に対する高い志を持ち、その実現のために主体的に活動する生徒を育成する。 地域・保護者と連携をし、地域・保護者に信頼される学校を作る。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する)は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(月日現在)		
年度目標					年度評価(月日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	多くの生徒が授業に積極的に取り組んでおり、授業の進度を速く感じている生徒が非常に多いが、8割の生徒は授業内容を概ね理解している。家庭学習では、検定前の1・2週間前は行っているが、普通教科も含め、習慣づけられるよう指導の工夫が必要である。 「至誠」・「士魂商才」を揮毫された澁澤栄一翁の生き方や考え方を、どのように確かな学力とビジネスの実践力に結びつけるか工夫する。	<ol style="list-style-type: none"> わかる授業の実現 検定合格者数の増加 家庭学習時間の増加 	<ol style="list-style-type: none"> 「学ぶ力」を定着させる授業を展開し、公開授業を行うなど「授業力」の向上を図る。 資格取得の奨励などにより学習の動機付けを行い、より高度な資格取得を目指す。 授業で予習・復習を促し、効果的な課題を課す。 	<ol style="list-style-type: none"> 生徒の授業の理解度や授業への取り組み(生徒アンケート)と公開授業の実施回数 各種検定の取得状況(普通教科も含む) 家庭学習の取り組み状況(生徒・保護者アンケート) 			
2	身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等の状況の生徒の自己評価はかなり高いが、教員側の意識と差があり、その差を埋める必要がある。 生徒一人ひとりが自ら学校行事・部活動を活性化させるため積極的に参画する主体的態度・意欲および自律した判断や行動ができる力など人間力の育成が課題である。	<ol style="list-style-type: none"> 主体的にモラル・マナーを守る態度を育成する指導の実施 学校行事・部活動・体験活動の推進 	<ol style="list-style-type: none"> 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等、指導項目を重点化し、教育活動の全ての場面における学校全体での同一歩調での指導を徹底する。 自ら主体的に学校行事(文化祭、体育祭、修学旅行等)部活動・体験活動等に参画する意欲を高め、社会的な能力・態度を育成し、学校に対する愛情と「人間力」を磨き高めさせる。 	<ol style="list-style-type: none"> 身だしなみ、あいさつ、授業規律、交通マナー等の状況の評価及び、アンケートでこれを主体的に守っていると答える生徒の数 学校行事・部活動・体験活動等への参加生徒数及び、活動状況 			
3	1年生から進路ガイダンスをととして進路に関する意識付けを行ない、早期から生徒に目的意識を持たせる指導の成果により良好な進路実績を保っている。今後は、保護者の意識付けや大学や公務員に対する指導方法等の工夫が必要である。 キャリア教育については、教育活動や県内企業・団体と連携しながら、計画的に進める必要がある。 学習指導要領の改訂や「高大接続改革」に伴う対応等について、教職員の共通理解を図る必要がある。	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育の充実 就職・進学希望の実現 新学習指導要領の対応を図る 	<ol style="list-style-type: none"> キャリアノートを活用し、キャリア教育への理解を深め、早期から進路に関する意識付けを保護者も含めた進路指導を図る。 就職試験・進学対策の指導体制の工夫改善の実施。 「高大接続改革」やそれに伴う「調査書」・「指導要録」の変更について共通理解を図ると共に、新学習指導要領に対応した教育課程を検討する。 	<ol style="list-style-type: none"> キャリア教育に関連する講演会実施状況やキャリアノート活用状況等 就職・進学希望者の進路決定状況 教職員研修の実施状況や教職員の理解度の状況及び新教育課程の取組み。 			
4	地域との良好な関係を維持できていると考える。今後は、更なる効果的な連携を組織立てて行う必要がある。 ホームページの内容を工夫し、広報誌等を活用しながら情報発信に努める。 また、授業をととして、地域の企業と連携をより一層深められよう工夫する。 100周年に向けて、保護者・同窓会・地域との連携をして準備を進める必要がある。	<ol style="list-style-type: none"> PTA活動の充実と効果的な情報発信 中学校訪問や効果的な学校説明会の実施 授業を通して地域との連携を図る。 100周年実施委員会を設置し事業に向けて準備する。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校行事の保護者・地域への公開とHPの充実を図る。 中学校訪問や体験入学、学校説明会などの中高連携行事を実施する。 地域の企業と連携して効果的な授業を展開する。 委員会を中心にPTA・同窓会と連携しながら、100周年記念事業企画・運営を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 保護者の学校行事への参加状況ならびに、学校からの情報提供への満足度 中学生の進路希望状況 地域の企業との連携状況 100周年記念事業に向けた進捗状況 			

学校関係者評価		
実施日	平成	年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等		